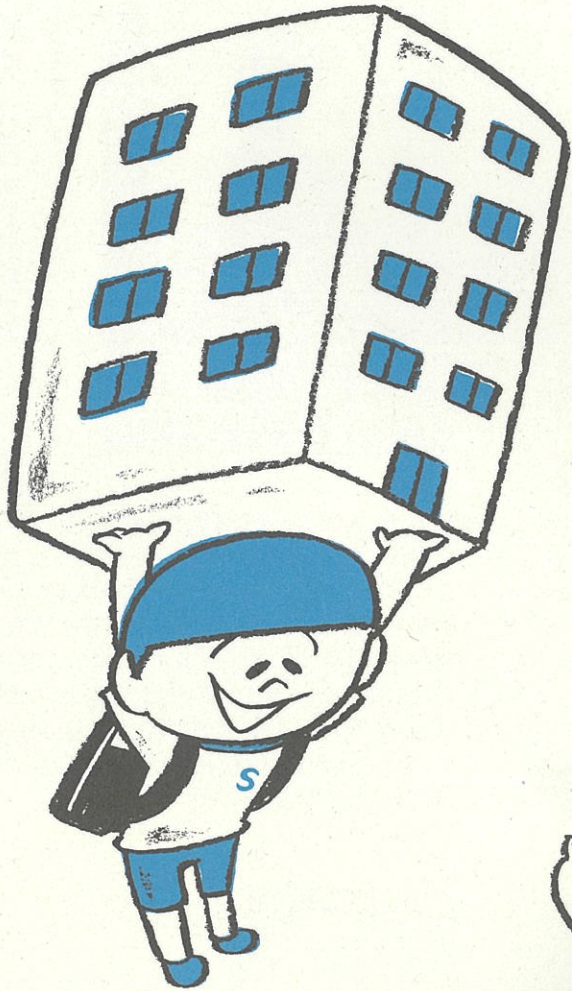


# アイテム

2008  
夏  
Vol.04

(財)伊丹市文化振興財団  
TAKE FREE



すごいぞ  
伊丹の  
コドモたち



ニシキ  
ガシ

「伊丹遺産」  
大型機の離着陸に夢を見る

[終演後の一軒]  
ネタも内装もDIY

[まちなか美術手帖]  
夏に変身する白鳥

[オトラクな関係]  
デビューしても変わらぬ絆



デビューしても変わらぬ絆

ちめいど  
篠山出身の兄弟アコースティック・ギターデュオ。シングル「猫背のうた」でメジャーデビュー。ミニアルバム「旅ゆく君へ」を発表し、TVや映画のテーマ曲も多数。心にグッとくる曲とライブに魅了されるファンは多い。  
<http://www.chimeido.com>

ナリさん  
伊丹オトラクサポーター。2004年から2年間若い子のライブを積極的に開催したcafe@nariの元オーナー。過去にはバンドコンテストの実行委員長も歴任するなど、伊丹と音楽の歴史をかかわりの深い、貴重な存在。

伊丹オトラクにはブッキングや裏方でサポーターとして係わってくれる人たちがいる。ナリさんもその一人だ。もともとカフェをしており、デビューを目指す若いミュージシャンのライブを積極的に行っていた。

若い子の応援団たる存在だが、ナリさんが特に熱をあげるミュージシャンに「ちめいど」がいる。初めて聴いた時「自分のカフェのこけら落としライブは彼らしかない」と惚れ込んだほどだ。

ショッピングモールや駅ビルのライブもセッティングし、回を重ねるごとに多くの人を集めていった。「お客さんと一緒になる感覚を大切にしている」という彼

らのライブは、徐々に輪を広げ、2006年にはフジテレビ系「めざましどようび」主題歌公募企画「めざうたコンペ」でグランプリを獲得。見事メジャーデビューを実現させた。

「多くの人に聴いてもらいたいけど、路上や小さなライブも心をこめてやっていきたい」とちめいどが心境を語ると、「わかるよ。みんなもきつとそう思っているよ」とナリさんがファンの気持ちをやさしく代弁する。「つかあ」のやりとりに、親子のような間柄。デビュー後も互いの絆は固いようだ。音楽がつなぐ不思議な縁を実感した『オトラクな関係』であった。



取材と文  
中脇健児 ● 事業企画課事業担当 ヒゲ、メガネ、坊主と三拍子そろった財団屈指の個性派。「伊丹オトラク」「鳴く虫と郷町」など多彩な企画でホールから飛び出す。本誌編集長も務める。

目指すのはこんなアイテム

市内の文化施設7施設を運営管理する(財)伊丹市文化振興財団。スタッフ自ら取材・文・写真・編集を行い「まちとアートをつなぐ伊丹のアイテム」として発行しています。展覧会やコンサートを観に、せっかく訪れた伊丹のまちなかも遊び心で楽しんでいただけたら、と思います。

# コドモに負けない スーパーイベント

すごいのはコドモばかりじゃありません。  
脳や体を刺激するオススメイベント、ここにあり。

## 7/5(土) ~8/17(日) 絵本の世界にどっぷり

創刊50周年を迎えた絵本誌『こどものとも』原画展が美術館と工芸センターで開催。「きゅうりさんあぶないよ」などロングセラー16作品の全場面が揃い、観ながら読み聞かせができる大胆な展示が見どころ。まるごと絵本になった会場を体験すれば大興奮間違いなし。

美術館・工芸センター



スズキコージ「きゅうりさんあぶないよ」1996

たのしい絵本の美術館『こどものとも』絵本原画展7/5(土)~8/17(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般700円、大高生350円、中小100円。☎072-772-7447

## 7/23(水) ~7/27(日) 「えんげき」をおもちゃにして遊ぶ

一線で活躍する演出家、役者、舞台スタッフがとことんサポートしてお芝居と一緒に作ります。ストーリーから衣装、道具までコドモたちで準備し、最後は発表会! 「えんげき」をおもちゃに遊ぶつくす。何でも徹底的なアイホールらしいワークショップだ。

アイホール



『こどものための演劇ワークショップ元氣!えんげき2008』7/23(水)~7/27(日)。小学3~6年生が参加。最終日は一般向けの発表会あり。無料。詳細は要問合せ。☎072-782-2000

## 伊丹が誇る 憧れの名門

コドモに夢を与えるスポーツ選手。伊丹もプロとつながりがありました。

### マー君とハヤト、伝説のバッテリー

楽天・田中将大と巨人・坂本勇人がバッテリーを組んでいた名門「昆陽里タイガース」の練習は毎週土(12:00~18:00)日・祝(9:00~18:00)。会費月2,200円。昆陽里小学校が堀池グラウンドが練習場だ。☎0797-80-2158(理事長:執行)

### 元Jリーガーが熱血指導

トップアスリートが教えてくれる「伊丹アスリートクラブ」。サッカースクールでは伊丹出身の元Jリーガーが熱血指導。U-8、10、12、スペシャルクラス。練習、日時、会費などは☎072-781-3614(クラブ代表)

### 小錦が教えに来たこともある

幕内力士や高校横綱も生み出した伊丹相撲教室。猪名野神社内の市立相撲場で稽古にはげむ。毎週日10:00~12:00。年会費3,000円(保険料別途500円)。☎072-784-8088(スポーツ振興課)

# すごいぞ、伊丹のコドモたち

ランドセルをひとたび脱げば、大人顔負けの活躍を見せてくれる伊丹のコドモたち。イベントも多い夏にふさわしく、コドモ特集スタート!



「抜いたらすぐに引き離すのが勝負のコツ」

## 時速40キロの3冠少女

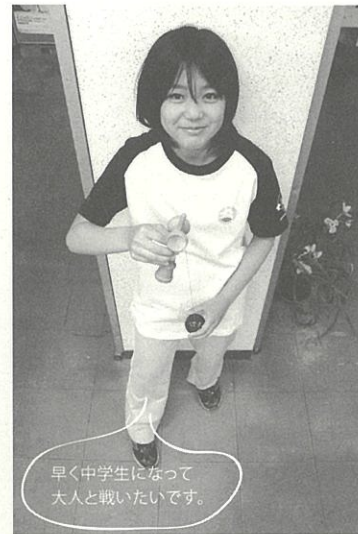
勾配のついたリンクを最速40kmで滑走する。伊丹スピードクラブに通う南小4年生の安高きらは、昨年度の全国大会・低学年の部で500m、1000m、5kmと3冠を制した伊丹最速の少女だ。「やっと勝てた」と素直に喜ぶのも、同じ男の子にあと数歩差で何度も負けていたからとか。「6年生についていけるようになった最近練習が楽しい」と語る表情は立派なアスリートだ。オリンピック競技に候補となっているローラースポーツ。いつかは日の丸を背負う事を夢見たい。



### 伊丹スピードクラブ

北伊丹にある西日本唯一の公認リンクを拠点とするクラブ。元全日本の伊川貢生さんが本格指導にあたる。世界選手権を目指すハードな練習もあるが、初心者向けのローラースケート教室も随時開催している。

練習は伊丹市立ローラースケート場で毎週土7:00~9:00、日9:00~11:00。会費月3,000円。初心者向けの教室は全5回3,000円(別途保険代要)☎072-773-0081(伊丹市ローラースケート協会)



早く中学生になって大人と戦いたいです。

## “げん玉王国伊丹”の プリンセス

32年の歴史を誇る日本けん玉協会の3大タイトルの一つ「第24回日本けん玉協会杯争奪戦」で初めて小学生で優勝し、業界を騒然とさせたシンデレラガールが伊丹にいる。「伊丹けん玉クラブ」に所属する荻野小6年生の中村美乃理さんだ。

回転する。宙に投げる。背中ごしにキャッチする…華麗な技を披露してくれるも、「切磋琢磨する友達や先生がいたから」とあくまで謙虚。技は何回もできて初めて体得したと言える競技ゆえに、同協会著『けん玉の技百選』をマスターした練習量は想像を絶する。そのひたむきさ、少しください。



### 伊丹けん玉クラブ

幼稚園児から中2まで、40名の部員のうち「半分が県代表。賞状は何百枚もある」と胸を張るのは指導暦26年の植西和義さん。初心者でも覚えやすい技が多く、できた時の達成感にひかれ入部希望者は後を絶たない。

練習は女性・児童センターで毎週水・木・金曜の18:30~20:00 会費月500円 ☎090-9984-7745(代表・植西)



十八番は「初天神」親子の会話が笑えます

## ことば文化都市が誇る ニューエイジ

「天才じゃないですよ。8才です」。ニンマリとはぐらかすのは鈴原小3年生の寺原大智くん。6才の時に「まんじゅうこわい」を読み聴かせてもらってから、落語の虜になり、今では地域の集いや図書館の催しに数多く出演する。巧みな話術と身振りや表情で惹き付ける高座に、マスコミの取材は数知れない。覚えた演目は20席以上で、現在は独演会や創作落語にも取り組んでいる。実は最近、おおぞえ大会で優勝したという。高座仕込の発声と情熱で「落語家になりたい!」と夢を叫ぶ様子が目に浮かぶ。



### ストリート落語

毎年秋に三軒寺前広場で開催されるプロ・アマ混合の青空イベント。落語のみならず大道芸から音楽までという芸能異種格闘技戦で寺原くんも鍛えられた。今年ももちろん参加。ゲストのプロ落語家との競演も楽しみだ。

第6回は10月開催予定。お昼から夕方にかけて三軒寺前広場で。料金無料 ☎072-777-1369(伊丹まちづくり会議事務局)



# まちなか 美術手帖

学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにたたずむアート作品を紹介。普段何げなく見ているものが実はすごい作品だったんです。

伊丹市役所前

## 夏に変身する白鳥

毎年夏になると、伊丹市役所の正面玄関前にある「白鳥の泉」が本来の姿を現す。

関西を代表する彫刻家集団「環境造形Q」が1985年に造ったモニュメントだ。「白鳥」は

昆陽池に飛来する伊丹のシンボル、「泉」は市役所前にかつてあった池が由来。高さ4メートル、重さ30トンの巨石を中心に、大小24個の黒御影石が点在する。普段は静けさの中で堂々たる存在感を漂わせているが、6月から10月末までの一定期間のみ水が溢れ出し、躍動的な力強さを爆発させる。

中心の巨石は縦に真二つに割れており、水が隙間から噴出する。激しい水音が響きわたり、美しい霧がかすかに立ちこめる。溜まってできた浅い池に子どもたちが集まり、戯れる。周辺の石は

上半分が磨かれており、ベンチとしても使われ、黒光りする固い石肌を腰をおろせば大地と交感しているかのような気持ちになる。

実は、一つ一つの石をつなげば白鳥座の配列を成している。白鳥座は北十字とも呼ばれ、夏を代表する星座。暑い季節が訪れると、白鳥は石と水の響きを奏でながら、空ではなく乾いた地上を涼しげに舞う。



小林陸一郎「無意味の存在」1986  
伊丹市立美術館蔵

環境造形Q●小林陸一郎(1938-)、増田正和(1931-1992)、山口牧生(1927-2001)の3人により1968年に結成、関西を拠点に約20年間活動する。周囲の環境を取り込み、人々のコミュニケーションを生む「開かれた」彫刻を生み出した。



取材と文

岡本梓●伊丹市立美術館所属 「諷刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナマから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。近現代美術を専門とする。

## 財団四季の芸は身を助く



伊丹市文化振興財団・加藤四季。ミュージカル俳優を夢見て歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連載。今回のテーマは

vol.4

伊丹セーリング協会  
県のジュニアクラブと選手の育成や普及に努める。日本代表選手も輩出し、まさに世界を股にかけるヨットクラブ。

### 海(マリン)が似合う女になりたい



優

秀な選手を多く輩出する伊丹セーリング協会が体験会を開催すると聞き、早速瑞ヶ池へ。池には桟橋、傍らの小屋では、カラフルなヨットがお出迎えてくれます。

ライフジャケットを着用しヨットに乗り込むと、小学生選手達が船長としてお手本を見せてくれることに。ヨットには帆と船尾に舵がついており、舵を押し引きして方向を変え、帆で上手く風を捕まえるとスピードに乗る…らしい。というのも実際どうすれば上手く動かせると、タックやジャイブといった専門用語も、何度も教えてもらったのにわからなかったから。すみません。でも皆の熱心な指導にやる気満タンで挑

戦してみました。

結果、帆のバタツキを舵で調整して解消する事で精一杯。集中せねばと上目づかっていると、帆がブイ〜とこちら目がけて向かって来ます。動きが予測できない私は、船長の合図でやっとなさぐり抜け、帆に頭突きという惨事は逃れるも、小さなヨットの中でてんてこ舞い。そんな中でも、一瞬風を捕らえられたかも？という時の水面を滑るような感覚は、重力から解放された開放感がありました。

水上の風と日差しで水面が細かくキラめいて、清々しい気分。女性の敵な紫外線も今日は許せてしまいそう。今年の夏はマリンが似合う女を目指そうかな。



(写真上)ドラマに出てきそうな船艇。池なのに一気に海気分。 (写真下)通常は専門スタッフがちゃんと見てくれます。

伊丹市だんらんホリデーにて、瑞ヶ池でセーリング1日体験会を行う。今年の日程は7/20、8/7、9/21、10/19、11/16、12/21。10:00~16:00。100円。市内の親子対象。子ども習いたい方には「こどもヨット教室」も。☎080-5707-5397(代表:西尾)



取材と文

加藤四季●いたみホール所属 音楽を学び、社交ダンスでは全国大会出場経験も持つ「歌って踊れる」ホールスタッフ。「体力なら誰にも負けません」。

# 大型機の離着陸に夢を見る



展望遊具からのぞむ離陸の瞬間

轟音を上げ、滑り出す機体を目で追う―機体が速度を上げ、地上から浮き上がるその瞬間は、奇跡のよう。年間約1700万人が利用する伊丹空港は国内に五つある基幹空港の一つ。隣接する伊丹スカイパークは、航空機騒音を和らげ、地域の憩いの場とすべく国・県・市が整備した長さ1.2km、幅80mの広大な公園だ。大型機の離着陸をグラウンドレベルで絶え間なく目にするのでできる施設は全国的にも珍しい。工事にあたっては、航空法の規制上、高い建物もクレーンもダメ、と高さに変な制約があったとか。

2006年の一部オープン以後、すでに県内有数の集客を誇るパークは、この7月にグランドオープン。滑走路を見渡す好立地に加え、花と緑があふれる展望台にカフェ、LED照明で浮かび上がる噴水、遊具広場など子どもから大人まで楽しめる仕掛けがさらに充実する。空港のある街、伊丹の新名所から目が離せない。

**飛行機の離陸に注目!** 公園内のどこもがビュースポットだが、飛び立つ飛行機を見るなら大階段「だんだんテラス」が特におすすめ。お問い合わせは伊丹スカイパークセンター ☎072-772-3447



## 9/6(土) のこぎり音楽と虫の音の共演 in酒蔵

伊丹郷町館

江戸時代の虫の音を愛でる習慣を再現。酒蔵に響く涼しげな鳴き声と、のこぎりのやわらかな音色が独特の風情を醸し出す。のこぎり音楽世界コンテスト優勝2回、クラシックからオリジナル曲までを弾きこなすサキタハチメの大好評企画第2弾。今年はパーカッション・池田安友子とピアノ・石川まぎとの共演もみどころ。

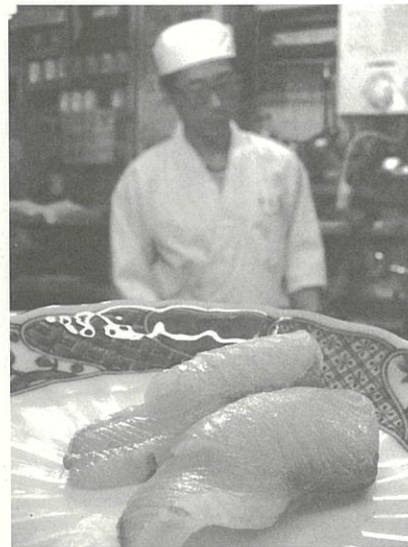
「鳴く虫と郷町」特別企画『サキタハチメと鈴虫コンサート』9/6(土) 19:00、2,500円(先着120名)。072-778-8788(いたみホール)

虫たちが涼しげに鳴く日本最古の酒蔵で、のこぎり音楽が牙え渡る「サキタハチメと鈴虫コンサート」の帰り道、のこぎり片手に独特な店舗を作り上げたすし屋のことを思い出す。ステイホテル前の坂を下ると、ビル角から突き出た小屋とちようちんの明かりが見えてくる。ご主人の鈴木さんと店員の比嘉さんが二人だけで1週間かけてつくった。名前は「すし楽」。

「木にやすりをかけてるとな、幸せな気分になれへんか。すしを握りながらどすのきいた声で語る鈴木さんの後ろを「あいよつ」と甲高い声をあげながら比嘉さんがすり抜ける。極狭な調理場、それゆえに手作りのよ

さが活かされる。醤油さしを置く為の木切れ、輪ゴムを入れるための枘：動線にあわせていくらでもピエス留めしている。

「自分が毎日たべれるもんしか出したらあかんのや」という大将のこだわりが發揮されたメニューは、半端なく分厚いにぎりが次々に出てくるコース料理を中心に、アボガドやクリームチーズが豪快に盛られた洋風巻き寿司などバラエティ豊か。この夏JR伊丹駅前に2号店がオープンするが、「残してほしいっていうお客さんが多いから」と、この店舗も当面営業をつづける。どこか懐かしい木のぬくもりにも包まれながら、すしコミュニケーションは今夜も続く。



写真のハマチは2貫で190円。昼コース1,050円、夜コース1,575円。2号店はJR伊丹駅前の伊丹酒蔵通りにあり。(メニューは1号店と異なります)

## ネタも内装にも DIY精神あふれる

伊丹には感動の余韻をまかせてくれるお酒と料理がちゃんとあります。

## 終演後の一軒

a door after the show

すし楽(1号店) 中央6丁目1-29  
☎072-785-3842 月休  
17:00~26:00(土日のみ11:00~)

阪急伊丹駅



取材と文

宮村賢治 ●いたみホール所属。大学で法律と哲学を学ぶも、アートプロジェクトのオモシロさにひかれて大学院へ。伊丹でも何か面白い事が出来ないかと日々商店街やまちなかをぶらつく。

取材と文

内山真理子 ●伊丹アイフォニックホール所属。世界の音楽を紹介する「地球音楽シリーズコンサート」などを担当。ローカル〜グローバルな「伝統芸能」と日々奮闘中。

生まれも育ちも

「ものづくり」のお家

今回訪ねたのは、型染め作家の北里美絵子さんです。自ら考えた幾何学模様や花をモチーフに布を染め、アクセサリーや鞆、大きなタペストリーまで制作されています。

みやのまえ文化の郷近くにある仕事場は家族と暮らす自宅の2階。部屋の大半を占める作業台には制作中の図案やデッサン、棚には糊や染料、幾種類もの変わった形の刷毛がありました。

日本画家であるお父さんの影響もあり、小さな頃から絵を描くことが好きだった北里さん。それだけでは物足りず、描いたものを何か形にすることを考えていました。ある日、おもちゃの繊維機で遊んだのをきっかけに染織。さらに型染めへと興味を持つようになります。

型染めは布地に型紙を置き、上から糊を付け、乾いた後に染色する方法。糊の部分が白く残り、模様

## クラフト作家の仕事場をたずねて

型染め作家 北里美絵子さん



(上)「駒ペラ」という糊置き専用のヘラや染料など様々な道具  
(下) 餅粉と米ぬかからできた型糊を混ぜているところ。

### 夏休み1日クラフト教室

工芸センターでは参加者を募集中。染色や木工、ガラスなど種類もたくさん。ぜひ体験してみてください。詳細は☎072-772-5557

となります。型紙はすべての箇所がつながるように彫るため「デザイン(下絵)がいのち。大きな作品では構図を考えるのに3週間もかかるそうです。洗いの工程で糊を落とし、浮かび上がった絵柄を見る瞬間がドキドキしてたまらないと言います。



北里美絵子(きたざと みえこ)  
伊丹生まれ。10/9(木)~14(火)まで「美術ギャラリー伊丹」にてグループ展を開催。作品は伊丹郷町クラフトショップにて展示販売しています。

普段は工芸センターの講座アシスタントとして多くの受講生に慕われている彼女。「もう少し広いアトリエに移って染色工房として開放し、ワークショップをやってみよう」と笑顔で語ってくれました。将来のワークショップ参加を予約し、北里さんの布で私が小物を作るといったのも素敵だねなんて夢話が盛り上がった1日でした。

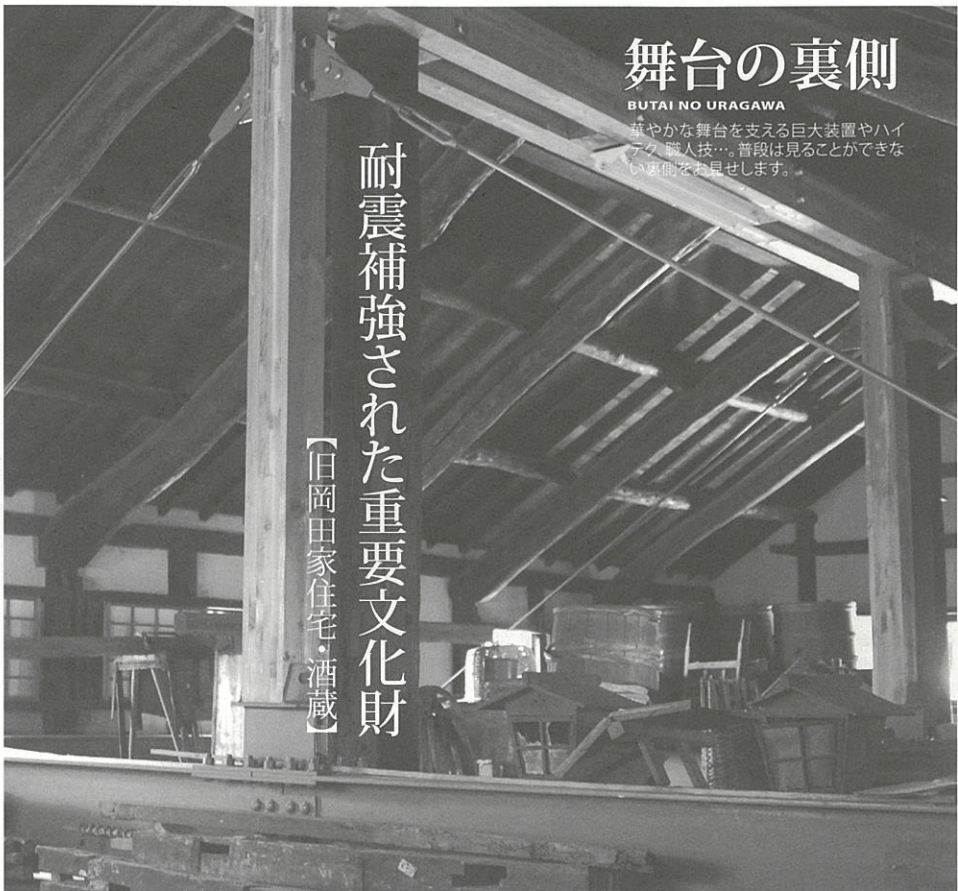
## 舞台の裏側

BUTAI NO URAGAWA

華やかな舞台を支える巨大装置やハイテク職人技…。普段は見ることができない裏側をお見せします。

## 耐震補強された重要文化財

【旧岡田家住宅・酒蔵】



清酒発祥の地「伊丹」にふさわしく、「みやのまえ文化の郷」にある『旧岡田家住宅・酒蔵』は、国内で現存する最古の酒蔵として国の重要文化財に指定された。

重要文化財といえは「手を加えてはいけないもの」と思われがちだが、実は最新の技術によって支えられている。

阪神・淡路大震災によって屋根の一部が落ちるなどの被害があったことを受け、文化庁指導のもと、先駆的な取り組みとして、大規模に耐震補強をくわえた解体復元を行った。

江戸時代の竹まいでありながら、より強い地震にも耐えられるように、壁の中などに鉄骨を隠して補強し、蔵の1階や屋根裏にはむき出しの太い鉄骨で支える状態となった。

江戸時代の棟梁たちも、平成まで存在し続け、鉄骨で支えることになることは夢にも思わなかっただろう。今の姿を見て彼らが驚く顔を想像すると、なんだか「ニヤリ」と笑える。

取材と文

権田康行●事業企画課施設担当 「困ったら僕に聞け」舞台、音響、電気、パソコン…7つの施設を股にかけ、技術を一手に引き受ける頼りになるメカニックマン。

取材と文

澤野宏美●伊丹市立工芸センター所属 伊丹郷町クラフトショップを拠点に全国各地の作家とつながる。現在は伊丹国際クラフト展と手織や陶芸などの講座を担当。自身もものづくりに魅せられ、身につけるものをチョコチョコ自作する。

9/27(土) 心にしみる歌と語らい

いたみホール開館10周年を記念して、初年度に開催した小椋佳「歌談の会」を再公演。「シクラメンのほかり」「愛燦爛」など名曲の提供から執筆・講演の多彩な活動で、いつも人を勇気付ける。和み、励み、挑みが心に広がる舞台を堪能してみては。



『小椋佳 歌談の会』  
9/27(土)17:30、4,500円。☎072-778-8788.

9/5(金)~9/11(木) 重要文化財で虫の音を愛でる

伊丹市昆虫館とのコラボ企画。町家や酒蔵がのこる郷町一帯で、竹の虫かごやツボに入れた鈴虫など約15種類1000匹が大集合。おなじみの「鳴く虫カフェ」「サキタハジメと鈴虫コンサート」に加えて、他施設のコラボ関連企画も目白押し!



『鳴く虫と郷町』9/5(金)~9/11(木)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。※5日・6日・7日は21:00までの特別夜間開館(入館は20:30まで)無料(一部有料イベント有)☎072-772-5959

募集中 作品募集!『酒器・酒盃台』

公募「伊丹国際クラフト展」。清酒発祥の地伊丹ならではの、日本酒にこだわった「酒器」と楽しい酒の場を演出する「酒盃台」をテーマに作品募集いたします。現代の人々にとって魅力的な酒のある空間作りを提案する作品をお待ちしております。



『2008伊丹国際クラフト展 主題「酒器・酒盃台」』応募は8/8(金)まで。入選作品展は10/31(金)~12/7(日)。資料の請求&問合せは☎072-772-5557

9/29(月) ロビーコンサートで栗コーダー

NHK教育テレビ「ピタゴラスイッチ」でお馴染みの「栗コーダカルテット」。リコーダーやウクレレ、色んな楽器を使って、オリジナルや古今のいい曲を演奏します。開放感あふれるロビーで、ドリンク片手に、なごみの音世界を楽しんでみませんか。



アイフォニック・ロビーコンサート『音のオアシス』9/29(月)19:30。3,000円(当日500円増)。チケットは7/22(火)発売。☎72-780-2110

7/5(土)~8/17(日) 郷土伊丹が生んだ俳人鬼貫

元禄期の上方を代表する郷土伊丹の俳人「鬼貫(おにつら)」。幼少時より俳諧に親しみ、25歳の春「まことの外(ほか)に俳諧なし」と独自の俳風を確立します。日常の言葉を使い、ありのままの表現を大切に鬼貫の直筆資料を中心にその生涯をご紹介します。



『没後270年 郷土伊丹の俳人 鬼貫』7/5(土)~8/17(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円・大高100円・中小50円。☎072-782-0244

7/25(金) 有拍の怒涛、無拍の神秘!

有拍と無拍の組み合わせが特徴的な「ペルシア音楽」。今回は、ゴブレット型の片太鼓トンバクにスポットをあて、その魅力を存分に味わって頂くと共に、葦笛、ネイ、弦楽器セタール、流麗な朗唱と歌も加え、絢爛豪華なペルシア絵巻を展開します。



アイフォニック地球音楽シリーズ135『悠遠の妙技 トンバク競演』7/25(金)19:00。一般3,500円・学生2,500円(当日各500円増)。☎072-780-2110

8/30(土)~31(日) 6人を演じ分ける「独り芝居」

ある少女をめぐるさまざまな女性が、まるで一つの物語を織りなすかのように身辺の模様を語っていきます。その登場人物すべてを女優・咲田とばこが演じ分けます。作・演出は北村想。二人の新たなライフワークの始まりをお見逃しなく!!



北村想 レジェンドプロデューサーNAGISAA『流れゆく夜と霧〜』8/30(土)19:30、8/31(日)15:00。2,500円。☎072-782-2000

9/3(水)~9/28(日) ジュエリーになりたかった昆虫

自分の命を守る為に擬態で身を隠す昆虫たちがジュエリーになる夢をみたしたら…?! 昆虫とジュエリーをテーマにユーモアあふれる作品を展示・販売します。期間中、伊丹市昆虫館より「虫のうご染め」による作品もあります。



『夢見る昆虫展』9/3(水)~9/28(日)。10:00~18:00(入館は17:30まで)。※5日・6日・7日は21:00まで特別夜間開館。(入館は20:30まで)入館無料。☎072-772-5557

7/5(土) 平和の尊さ・家族の絆を感じる

今回の「ラスト映画倶楽部」は巨匠・山田洋次監督が吉永小百合主演で描く激動の昭和。戦争反対を唱える父が囚われの身となり、残された母と幼い二人の娘が、様々な困難に二人ながらも明るく懸命に生きる姿を描く。



ラスト映画倶楽部『母べえ』7/5(土)①10:00②14:00③18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。10:00の回のみ2歳以上就学前のお子様の託児有(有料、事前予約要)。☎072-781-8877

7/20(日) クラシックの世界を身近に楽しむ

70回記念としてパリ在住のフルーティスト石橋輝樹を迎え、繊細でファンタスティックな世界と神秘的でノスタルジックなハーブの調べをお贈りします。足立勝の素敵なお話と共に清々しい夏のひと時をお楽しみ下さい。



ITAMI Abend Concert 70th Anniversary『夏の風にそよぐ名曲の調べ〜フルート&ハーブ〜』7/20(日)14:30。一般1,600円(当日2,000円)、高校生以下・60歳以上1,200円(当日1,500円)ジュース・ワインサービス付。☎072-781-8877

8/8(金)~8/10(日) 関西と九州をつなぐ物語

今春よりアイホールディレクターに就任した岩崎正裕率いる劇団太陽族の最新作。今回は福岡から気鋭の俳優を迎え、関西弁と九州弁を駆使した会話劇をお届けします。「地域」と呼ばれる二つの町から日本のくいまをを描く舞台にご期待ください。



劇団太陽族『往くも帰るも』8/8(金)19:30、8/9(土)15:30/19:30、8/10(日)15:30。一般3,000円(当日300円増)、学生・ペア割引あり。☎072-782-2000

8/30(土)~11/24(日) 生誕200年 ドーミー一挙公開!

美術館が世界に誇るフランス人画家オノレ・ドーミーの版画コレクション。生誕200年を記念して本展では名作、秀作などお宝作品を一挙公開。冬にはさらなる拡大展も! シニカル&ユーモラスな諷刺画家ドーミーの魅力をご堪能ください。



『ドーミー 人間喜劇<第1部>』8/30(土)~11/24(日)10:00~18:00(入館は17:30まで)。一般200円、大高150円、中小100円。☎072-772-7447

アイテム



2008年7月1日発行(季刊夏号・通巻57号)  
発行:(財)伊丹市文化振興財団  
編集:アイテム編集委員会  
表紙イラスト:ニシワキタダシ

〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
伊丹市立文化会館「いたみホール」内  
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585  
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan  
Email itamihall@hcc1.bai.ne.jp

<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、東商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ビバ伊丹、三軒寺広場周辺のお店、伊丹シティホテル…ほか市内各所

チケットプレゼント

- ①たのしい絵本美術館『こどものとも』絵本原画展 7/5(土)~8/17(日)(美術館) 5組10名
  - ②劇団太陽族『往くも帰るも』8/8(金)19:30、8/9(土)15:30/19:30、8/10(日)15:30(アイホール) 2組4名
- ご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団宛宛「アイテムチケットプレゼント係」まで、7月25日までに必着。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

